

合唱への熱い思い 『男性コーラス 土声会』

おおらかなというより、おおまかな人間の集まりなものですから、この合唱団がいつ発足したのか、とんと分かりません。  
ある時、「そろそろ十五年は経つたぞら」とだれかが口火を切るや、「そんなもんずら」と全員が瞬時にハモリ、「区切りには何かでかいことをすべえ」と発展しました。そして、アピオ都留において「土声会の夕べ」と銘打ち十五周年コンサートを開催したのが平成三年。ということば、多分、今年二十五歳になるのでしょう。

都留市民合唱団で唱っていた仲間の中で、是非男性合唱をやりたいねと意気投合した八名によって土声会は産声をあげました。名前の由来は、土曜日の夜に声を出したからです。

練習の後の飲み会、二カ月に一回の宴席、合宿など、相互の親睦を大切にしてきましたが、このスキシップこそ土声会の活力の源、長寿の秘訣なのです。

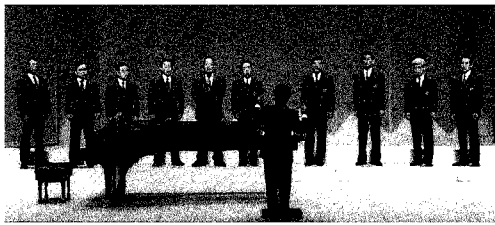
私もは、長年にわたって五月の「郡内お母さんコーラス大会」と十月の「都留市合唱祭」という二大イベントに参加することを目標として練習に取り組んできました。本番の三カ月前から唱いだし、コンサートが終わるとしばらくお休みするという練習スタイルも続いていました。しかし、十年ほど前からは、宝山寮の「宝山祭」、回生堂病院や老健つる、よこぶき荘のクリスマス会にご招待いただき、慰問演奏をするようになりました。また、五年前から「関東お父さんコーラス大会」に参加し、昨年は山梨県合唱連盟主催による、うぐいすホールでの大会を成功させることができました。昨年秋の県芸術祭、本年二月の「かいじらめき国体」にも参加しました。

かように身边はあわただしくなっています。合唱への熱い思いはいささかも衰えず、唱う楽しさを広く市民の皆さんとともに共有できるように日々励んでいます。

若い世代のみなさん、どうぞお仲間。

問合せ先

小石澤 学 ☎(43) 4625



土声会のみなさん

生涯学習通信 生涯学習推進会議調査・啓発部会



のびのび いきいき 生涯学習

生涯学習グループの紹介

現在、都留市内において各種団体に所属し、活動している学習グループや自主的に学習しているグループを紹介します。

世紀を超えて、歌う喜びをあなたへ「都留女声合唱団 泉」

こんなテーマで創立三十周年の記念コンサートを六月二十四日に控えた都留女声合唱団「泉」は、今、着々とその準備に取り組んでいます。今から三十年前、当時活発に活動していた都留市民合唱団委員長の故石原光也さんや、澤田洋一先生の呼び掛けを受けて昭和四十六年七月に、都留ママさんコーラスとして、その産声をあげました。二十周年を機に、清らかで絶えることのない泉をイメージして、都留女声合唱団「泉」と改名し、最初からの指導者清水靖夫先生の熱意あふれる指導のもとに、歌えることの幸せと厳しさを仲間と共感しつつ練習に励み、市や県や関東ブロックの大会にも積極的に出場している私たちです。十年前の二十周年コンサートの時は、市民会館が無く都留文科大学の音楽棟ホールで内々の手作りコンサートを開催しました。

今回はすばらしい、うぐいすホールで三十周年記念コンサートが開けることに胸をおどらせています。曲目も今まで歌ってきた、たくさん曲の中から思い出深い曲を選び、宝コーラス、はもーる城北の賛助出演、コンサートエミュー、武井ファミリアリンパ演奏などの応援も頂き、また、遠く四国からかつての良寛役バリトン歌手が里帰りして花を添えてくださいます。

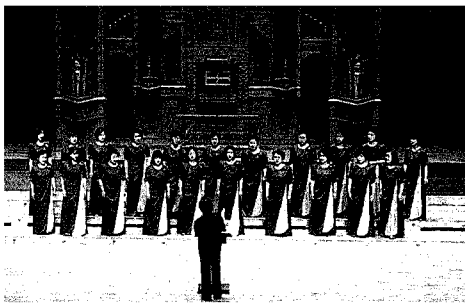
今、この大きなイベントを進めるための、さまざまな仕事や準備の多さに驚きながらも、役割分担に、パート練習に自主的に取り組む会員の意欲はコーラスの中では見られない独創性や積極性を借しみなく発揮して、一人ひとりの責任と意欲をありがたく頼もしく感じています。二十代から七十代の幅広い女声コーラスの円熟した歌声をどうぞ聴きにいらしてください。

また、プログラムの中に、今、ミュージアム都留で開催されている「野口雨情展」に因りて雨情作詞の童謡を「みんな歌おう」という時間もあります。

『世紀を超えて歌う喜びをあなたへ』のテーマのもと、すばらしいホールで合唱の街都留の意気をみなさんと共に歌い聴きあえる、ひとときを楽しんでしています。

問合せ先

重原千恵子 ☎(43) 1497



都留女声合唱団 泉のみなさん